



## Japan Weeks 2024に参加しました

2024年10月3日(木)から11日(金)にかけて、Japan Weeks 2024の各種イベントにて講演を行いました。

- (1)第1回資産運用フォーラム年次会合(10月3日)
- (2)脱炭素エネルギーセミナー(10月4日)
- (3)東京・サステナブル・ファイナンス・フォーラム(10月4日)
- (4)GX・金融企業誘致セミナー(10月9日)
- (5)ポジティブ・インパクト・デー2024(10月11日)

### 1. 全体概要

海外の投資家や資産運用会社等を招致し、日本の取組等を伝えるイベントが集中的に開催される Japan Weeks 2024 に参加しました。それぞれのイベントにて、GX 推進機構の機能や今後果たすべき役割について講演を行いました。

### 2. 各種イベントの内容

- (1)第1回資産運用フォーラム年次会合(10月3日)

[日時]2024年10月3日(木)13:00~18:00

[主催]ブルームバーグ

[テーマ]トランジション・ファイナンスの拡大に向けて 等

[講演者]GX 推進機構理事 高田 英樹

ブルームバーグ主催の本イベントでは、高田理事から、日本の GX 戦略を背景に150兆円超の官民投資を目指す上で、GX 推進機構が重要な役割を担うことについて説明しました。

さらに、脱炭素、経済成長の両立を実現するには GX 市場の創造や多様な主体からの資金の動員が必要であることについて言及し、フォーラムに参加されていた国内外の機関投資家に向けて、改めて投資の重要性に関して理解を高めるべく、説明を行いました。



(当日の様子)



(2)脱炭素エネルギーセミナー(10月4日)

[日時]2024年10月4日(金)14:30~17:20

[主催]在日フランス大使館 経済部

[テーマ]日本の脱炭素への投資 等

[講演者]GX 推進機構 COO 重竹 尚基

フランス大使館主催の本セミナーでは、重竹 COO から日本の GX の取組とその意義、それらを踏まえた GX 推進機構の果たすべき役割について説明しました。

パネルディスカッションでは、今後の国際協力の在り方について問われ、GX 実現のためには再生可能エネルギーの適地の偏在等を踏まえ、日本国内に閉じないサプライチェーン構築の必要性を訴えました。

(当日の様子)





(3)東京・サステナブル・ファイナンス・フォーラム(10月4日)

[日時]2024年10月4日(金)13:00~19:30

[主催]東京国際金融機構

[テーマ]サステナブルファイナンスの現状と課題 等

[モデレータ兼講演者]GX 推進機構理事 高田 英樹

東京国際金融機構主催の本イベントでは、高田理事から GX 推進機構の役割等について説明するとともに、パネルディスカッションのモデレータとして、サステナブルファイナンス、トランジション・ファイナンスの重要性と拡大の方策について、事業会社、国内金融機関、海外金融機関のパネリストと共に議論を行いました。

(当日の様子)



(4)GX・金融企業誘致セミナー(10月9日)

[日時]2024年10月9日(水)15:00~18:30

[主催]札幌市

[テーマ]GX・金融をリードする今後の札幌・北海道への期待について 等

[登壇者]GX 推進機構理事 高田 英樹

札幌市主催の本セミナーにおいて、高田理事が、秋元市長らとのパネルディスカッションに登壇。GX を推進する上で金融が果たすべき役割や、また同時に、GX が金融にとってのチャンスにもなりうるということ、さらに、北海道の持つ GX 分野でのポテンシャルの高さについて、わかりやすく説明を行いました。



(当日の様子)



(5) ポジティブ・インパクト・デー2024(10月11日)

[日時]2024年10月11日(金)

[主催]ソシエテ・ジェネラル

[テーマ]サステナブルファイナンスの枠組み 等

[登壇者]GX 推進機構理事 高田 英樹

ソシエテ・ジェネラル主催の本イベントでは、高田理事から、GX 推進機構の役割や日本のサステナブルファイナンスの枠組みの特徴等について説明しました。ディスカッションでは、日本のトランジション・ファイナンスは、欧州と枠組みは違うものの、目指すゴールは共通であることが強調されました。

(当日の様子)





(本発表資料のお問合せ先)

脱炭素成長型経済構造移行推進機構

担当者:財務・サステナビリティ推進部

高林、天達、清水、吉倉

メール:gx\_acceleration\_agency★gxa.go.jp

※[★]を[@]に置き換えてください。